

# 医療法人社団聖友会内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会 議事録

開催日時 : 西暦2016年8月26日(金)12時00分～12時20分  
場 所 : れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

議 題 : 三好産婦人科による再生医療等提供状況定期報告について

再生医療等提供状況定期報告  
書を提出した医療機関の名称 : 三好産婦人科

資料受領年月日 : 西暦2016年8月25日

認定再生医療等委員会の  
所在地及び名称 : 所在地 名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

出席者 :  
委員7名 委員長 内藤 七民 a.医学・医療 男性  
副委員長 吉岡 真弓 a.医学・医療 女性  
平畑 徹幸 a.医学・医療 男性  
神戸 正臣 a.医学・医療 男性  
熊田 均 b.法律・生命倫理 男性  
藤岡 寛 c.一般 男性  
鈴木 郁功 a.医学・医療 男性  
(委員7名とも三好産婦人科とは利害関係なし)  
事務局1名 井上 克也

議題 : 三好産婦人科の再生医療等提供状況定期報告について又、活性NK細胞療法の対象者へ今後も適用することの可否

議事 : 内藤 七民委員長が議長になり、本日の議題について他の委員6名に議題内容を説明した。  
内藤 七民委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。  
(内藤 七民委員長は事前に、三好得司院長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき他の委員に伝えた。)

審議結果 : 再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、当該機関のこれまでの活性NK細胞療法の治療実績から、患者様からの信頼も非常に厚く治療効果が期待でき、且つ副作用もなく、安全性も高いことが明らかである。よって今後も活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(下記の流れで治療すること)は適当であると委員7名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時20分に閉会を宣言した。後日、安全性及び科学的妥当性についての評価については、今後細かく分析していくことが望ましいと委員長から各委員に伝えられた。

計画番号 : PC5150006

治療の流れ : 40ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

# 医療法人社団聖友会内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会 議事録

開催日時 : 西暦2016年8月26日(金)12時00分～12時20分  
場 所 : れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

議 題 : 三好産婦人科による再生医療等提供状況定期報告について

再生医療等提供状況定期報告  
書を提出した医療機関の名称 : 三好産婦人科

資料受領年月日 : 西暦2016年8月25日

開催日時 : 所在地 名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

出席者 :  
委員7名 委員長 内藤 七民 a.医学・医療 男性  
副委員長 吉岡 真弓 a.医学・医療 女性  
平畑 徹幸 a.医学・医療 男性  
神戸 正臣 a.医学・医療 男性  
熊田 均 b.法律・生命倫理 男性  
藤岡 寛 c.一般 男性  
鈴木 郁功 a.医学・医療 男性  
(委員7名とも三好産婦人科とは利害関係なし)  
事務局1名 井上 克也

議題 : 三好産婦人科の再生医療等提供状況定期報告について又、新樹状細胞ワクチン療法の対象者へ今後も適用することの可否

議事 : 内藤 七民委員長が議長になり、本日の議題について他の委員6名に議題内容を説明した。  
内藤 七民委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。  
(内藤 七民委員長は事前に、三好得司院長から新樹状細胞ワクチン療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき他の委員に伝えた。)

審議結果 : 再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、当該機関のこれまでの新樹状細胞ワクチン療法の治療実績から、患者様からの信頼も非常に厚く治療効果が期待でき、且つ副作用もなく、安全性も高いことが明らかである。よって今後も新樹状細胞ワクチン療法の対象者へ適用すること(下記の流れで治療すること)は適当であると委員7名とも満場一致で判断した。

委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時20分に閉会を宣言した。後日、安全性及び科学的妥当性についての評価については、今後細かく分析していくことが望ましいと委員長から各委員に伝えられた。

計画番号 PC5150007

治療の流れ : 60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、腋窩リンパ近くに1ccの皮下(皮内)注射を行う。

# 医療法人社団聖友会内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会 議事録

開催日時 : 西暦2016年8月26日(金)12時00分～12時20分  
場 所 : れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

議 題 : 三好産婦人科による再生医療等提供状況定期報告について

再生医療等提供状況定期報告  
書を提出した医療機関の名称 : 三好産婦人科

資料受領年月日 : 西暦2016年8月25日

開催日時 : 所在地 名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

出席者 :  
委員7名 委員長 内藤 七民 a.医学・医療 男性  
副委員長 吉岡 真弓 a.医学・医療 女性  
平畑 徹幸 a.医学・医療 男性  
神戸 正臣 a.医学・医療 男性  
熊田 均 b.法律・生命倫理 男性  
藤岡 寛 c.一般 男性  
鈴木 郁功 a.医学・医療 男性  
(委員7名とも三好産婦人科とは利害関係なし)  
事務局1名 井上 克也

議題 : 三好産婦人科の再生医療等提供状況定期報告について又、ガンマ・デルタT細胞療法の対象者へ今後も適用することの可否

議事 : 内藤 七民委員長が議長になり、本日の議題について他の委員6名に議題内容を説明した。  
内藤 七民委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。  
(内藤 七民委員長は事前に、三好得司院長からガンマ・デルタT細胞療法を施行している者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき他の委員に伝えた。)

審議結果 : 再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、当該機関のこれまでの他の免疫細胞療法の治療実績から、患者様からの信頼も非常に厚く今後ガンマ・デルタT細胞療法の対象者へ適用すること(下記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時20分に閉会を宣言した。

計画番号 PC5150008

治療の流れ : 40ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

# 医療法人社団聖友会内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会 議事録

開催日時 : 西暦2016年8月26日(金)12時00分～12時20分  
場 所 : れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室

議 題 : 三好産婦人科による再生医療等提供状況定期報告について

再生医療等提供状況定期報告  
書を提出した医療機関の名称 : 三好産婦人科

資料受領年月日 : 西暦2016年8月25日

開催日時 : 所在地 名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会

出席者 :  
委員7名 委員長 内藤 七民 a.医学・医療 男性  
副委員長 吉岡 真弓 a.医学・医療 女性  
平畑 徹幸 a.医学・医療 男性  
神戸 正臣 a.医学・医療 男性  
熊田 均 b.法律・生命倫理 男性  
藤岡 寛 c.一般 男性  
鈴木 郁功 a.医学・医療 男性  
(委員7名とも三好産婦人科とは利害関係なし)  
事務局1名 井上 克也

議題 : 三好産婦人科の再生医療等提供状況定期報告について又、活性T細胞療法の対象者へ今後も適用することの可否

議事 : 内藤 七民委員長が議長になり、本日の議題について他の委員6名に議題内容を説明した。  
内藤 七民委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。  
(内藤 七民委員長は事前に、三好得司院長から活性T細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき他の委員に伝えた。)

審議結果 : 再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、当該機関のこれまでの活性T細胞療法の治療実績から、患者様からの信頼も非常に厚く治療効果が期待でき、且つ副作用もなく、安全性も高いことが明らかである。よって今後も活性T細胞療法の対象者へ適用すること(下記の流れで治療すること)は適当であると委員7名とも満場一致で判断した。  
委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時20分に閉会を宣言した。後日、安全性及び科学的妥当性についての評価については、今後細かく分析していくことが望ましいと委員長から各委員に伝えられた。

計画番号 PC5150009

治療の流れ : 40～60ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

# 医療法人社団聖友会内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会 議事録

- 開催日時 : 西暦2016年8月26日(金)12時40分～12時50分  
場 所 : れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室
- 議 題 : 医療法人社団 創友会 ヒラハタクリニックによる再生医療等提供状況定期報告について  
再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称 : 医療法人社団 創友会 ヒラハタクリニック
- 資料受領年月日 : 西暦2016年8月25日
- 認定再生医療等委員会の所在地及び名称 : 所在地 名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会
- 出席者 :  
委員6名 委員長 内藤 七民 a.医学・医療 男性  
副委員長 吉岡 真弓 a.医学・医療 女性  
神戸 正臣 a.医学・医療 男性  
熊田 均 b.法律・生命倫理 男性  
藤岡 寛 c.一般 男性  
鈴木 郁功 a.医学・医療 男性  
(委員6名とも、医療法人社団 創友会 ヒラハタクリニックとは利害関係なし)
- 事務局1名 井上 克也
- 議題 : 医療法人社団 創友会 ヒラハタクリニックの再生医療等提供状況定期報告について又、活性NK細胞療法の対象者へ今後適用することの可否
- 議事 : 内藤 七民委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。  
内藤 七民委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。  
(内藤 七民委員長は事前に、平畑 光一院長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき他の委員に伝えた。)
- 審議結果 : 再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、他の免疫細胞療法の治療実績から、患者様からの信頼も非常に厚く治療効果が期待でき、且つ副作用も少なく、安全性も高いことが明らかである。よって今後活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(下記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。  
  
委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、12時50分に閉会を宣言した。
- 計画番号 : PC3150003
- 治療の流れ : 40ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。

# 医療法人社団聖友会内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会 議事録

- 開催日時 : 西暦2016年8月26日(金)12時50分～13時00分  
場所 : れんが橋ビル5階 内藤メディカルクリニック応接室
- 議題 : 医療法人社団 創友会 UDXヒラハタクリニックによる再生医療等提供状況定期報告について  
再生医療等提供状況定期報告書を提出した医療機関の名称 : 医療法人社団 創友会 UDXヒラハタクリニック
- 資料受領年月日 : 西暦2016年8月25日
- 認定再生医療等委員会の所在地及び名称 : 所在地 名古屋市中区正木4丁目8番7号 れんが橋ビル5階  
名称 内藤メディカルクリニック認定再生医療等委員会
- 出席者 :  
委員6名 委員長 内藤 七民 a.医学・医療 男性  
副委員長 吉岡 真弓 a.医学・医療 女性  
神戸 正臣 a.医学・医療 男性  
熊田 均 b.法律・生命倫理 男性  
藤岡 寛 c.一般 男性  
鈴木 郁功 a.医学・医療 男性  
(委員の藤岡 寛と鈴木 郁功2名は医療法人社団 創友会 UDXヒラハタクリニックとは利害関係なし)  
事務局1名 井上 克也
- 議題 : 医療法人社団 創友会 UDXヒラハタクリニックの再生医療等提供状況定期報告について又、活性NK細胞療法の対象者へ今後適用することの可否
- 議事 : 内藤 七民委員長が議長になり、本日の議題について他の委員5名に議題内容を説明した。  
内藤 七民委員長が再生医療等提供状況定期報告書に照らし合わせ他の委員の意見を聞いた。  
(内藤 七民委員長は事前に、平畑 徹幸理事長から活性NK細胞療法を施行している患者様の安全性及び科学的妥当性についての評価、施行状況(施行人数)等の報告を受け、その件につき他の委員に伝えた。)
- 審議結果 : 再生医療等提供状況定期報告書の内容を委員会で検討した結果、他の免疫細胞療法の治療実績から、患者様からの信頼も非常に厚く治療効果が期待でき、且つ副作用もなく、安全性も高いことが明らかである。よって今後活性NK細胞療法の対象者へ適用すること(下記の流れで治療すること)は適当であると委員6名とも満場一致で判断した。  
  
委員長は、以上をもって本日の議事を全部終了した旨を述べ、13時00分に閉会を宣言した。
- 計画番号 : PC3150002
- 治療の流れ : 40ccの採血(1回分)から、約2週間培養して、静脈から110ccの点滴投与を行う。